

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、脳神経外科/リハビリテーション科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 痙縮に対するA型ボツリヌス毒素治療（ボトックス、ゼオマイン）とリハビリテーション後の評価

[研究対象者]

2022年4月～2026年3月までの間に、脳神経外科、リハビリテーション科にて痙縮と診断され、A型ボツリヌス毒素治療を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：性別、年齢、病名、発症日、治療日、治療経過、Modified Ashworth Scale (MAS)、関節可動域、上肢機能評価：MAL /JASMIC、電気生理：F波、H波、5m歩行、Timed up and go test、Functional Ambulation Categories (FAC)、QOL評価

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

A型ボツリヌス毒素であるボトックスとゼオマインの安全性と有効性を直接比較することが目的です。今後患者様に2剤を選択していただく上で重要な試験となると考えます。

[研究責任者]

東京女子医科大学附属足立医療センター リハビリテーション科 教授 降矢芳子

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2026年3月末までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学附属足立医療センター リハビリテーション科 教授 降矢芳子

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学附属足立医療センター 脳神経外科 助教 菊池麻美

電話：03-3857-0111（応対可能時間：平日9時～16時）

